

9月のできごと

「安平町まち・あいステーション ラピア」オープン

9月2日、デマンドバスのバス待合所を兼ねたラピアがオープン。式典で瀧町長は、「街中ににぎわいを取り戻すきっかけになってほしい」とあいさつ。

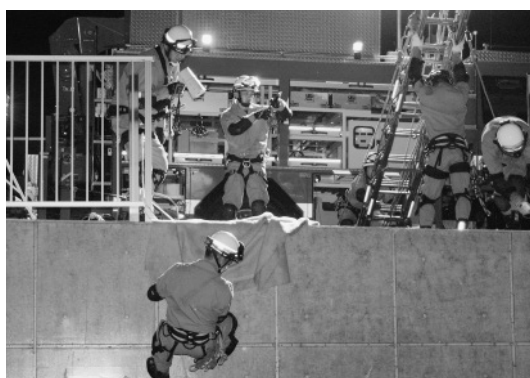
デマンドバスの待ち時間、買物の拠点や休憩、お友達とおしゃべりの場など、に利用できます。

(※利用団体の登録は、企画財政課(☎2751)、またはラピアへ。(☎2733))



特救隊 野営で訓練実施

胆振東部消防組合特別救助隊が安平支署を拠点に、9月10日から11日と12日から13日に1班ずつ野営訓練を実施。同組合では、東日本大震災時の緊急救助隊として職員を派遣、その教訓と経験を生かすためにも昨年度から取組んでいます。さまざまな事案を想定した夜間の救出訓練や道路寸断を想定した移動訓練は、日中の救助よりも注意が必要とされています。



之乃屋が麦チエン

安平町内でも6割が生産されている小麦「きたほなみ」100%を使ったうどんが完成。手打ちうどん店「之乃屋」が店頭での提供を開始。

9月11日、関係者などを招き行われた試食会で「改良を重ね、1年かけてやっと皆さんに提供できるものができた。」とあいさつし、讃岐うどんの食感を残したいたための苦労を語りました。

冷たいもの、温かいもの、どちらも美味しく高評価です。ますます地産地消への意欲が高まりそうです。



役場は何をするところ？

はやきた子ども園のすてっぷ組の園児たちが「安平町をよく知ろう」と早来市街地にある商店や銀行などを見学しながら回るスタンプラリーを実施。

9月12日には、役場早来庁舎を見学しました。見学中には、「なんのお仕事しているの?」と質問をする場面も見られました。

見学を終えた後はスタンプを貰った園児はご満悦で、最後は庁舎をバックに記念撮影も行いました。



北海道肉用牛共進会

9月15日、ホルスタイン共進会場(早来新栄)で第30回北海道肉用牛共進会が開催されました。

例年開催している十勝管内の会場が改修中のため、安平町では初めての開催。

生産者の愛情を沢山受け成長した肉牛150頭が道内各地から集まりました。

町内から出品された肉牛では、有限会社中道農場の「ひさまる号」が第8部門黒毛和種父系群で一等一席を獲得しました。



写真は、中道農場が第7部門に出品した黒毛和種経産「れな号」